授業科目名・形態	介護総合演習Ⅳ　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志　柴田博　今野修	実務経験の有無	有	開講期	３年前期
科目ナンバリング	W6-3004c				

【授業の主題】

介護実践に必要な知識と技術の統合を行なうとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。介護実習Ⅲ終了後の各自の個別援助計画について発表するなど振り返りを中心に授業を行う。また、介護実習の総仕上げとして各自の介護関連テーマについて実践研究し、発表するとともに自身の介護観についても考察を深める。

【到達目標】

１．質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義とその方法を理解する。
２．介護実習Ⅲで実施した個別援助計画について説明できる。
３．各自の介護観について説明できるようになる。

【授業計画・内容】

第 1 回　介護実習Ⅲの振り返り、課題のまとめ
第 2 回　介護実習Ⅲの課題について討議、解決策の検討
第 3 回　介護実習Ⅲで実施した個別援助計画の発表と討議①
第 4 回　介護実習Ⅲで実施した個別援助計画の発表と討議②
第 5 回　介護実習Ⅲで実施した個別援助計画の発表と討議③
第 6 回　介護総合演習における知識と技術の統合化①
第 7 回　介護総合演習における知識と技術の統合化②
第 8 回　質の高い介護に向けた実践研究①
第 9 回　質の高い介護に向けた実践研究②
第 10 回　質の高い介護に向けた実践研究③
第 11 回　各自テーマについての研究発表①
第 12 回　各自テーマについての研究発表②
第 13 回　各自テーマについての研究発表③
第 14 回　各自テーマについての研究発表④
第 15 回　介護観の形成

【授業実施方法】

基本的に演習形式で行う。

【授業準備】

介護実習Ⅰ～Ⅲまでを振り返り、各自介護実践の課題や解決策を整理しておく。

【主な関連する科目】

介護過程、介護の基本、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座 10　介護総合演習・介護実習　第 2 版　中央法規出版

【参考文献】

必要時に資料を配付する。

【成績評価方法】

授業態度等 10%、授業内での発表 40%、レポート等の提出物 50%の総合判定とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で介護職員として介護業務を経験してきた。介護現場での経験を活かし、介護に係る研究に関して指導していきたい。

【学生へのメッセージ】

今までの介護実習を総合的に振り返り、自分の考える介護とは何か、各自の介護に関する「介護観」を考えてみてください。